

妙高西条農園 おたより

No.149
5月号
2024.5.23



数年ぶりに参加した(株)フローラ主催の研究会でしたが、遠くは沖繩からも参加者があり、有意義な研究会となりました。

天然植物活力液 HB-101 で元気な農作物を栽培されている、関西・四国の先進地農家を視察

まず一日目は淡路島でイチゴの栽培農園と淡路島特産のタマネギの栽培農家を視察し、鳴門橋を渡り四国に入り、阿波市でナス等の野菜を栽培されている農家を視察し、徳島市内のホテルで意見交換・懇親会を行い一日目を終わりました。二日目は淡路島経由で神戸市に戻りナス・ピーマン栽培農家を視察し、三木市でピオーネ等の高級ブドウ栽培を視察し、

最後は今回の研究会で一番気にしていた酒米兵庫県特A地区で栽培の「山田錦」についてです



HB-101 フローラ研究会

この地区の栽培者の谷郷様によると、特A地区の土壌はマグネシウムが多く含まれおり、それにHB-101の効果ではと、話されていました。ちなみに、我が農園で使用しているミネラル土壌改良材にもマグネシウムが多く含まれております。

丈夫な苗作りは基本です



HB-101 動噴散

先月号で紹介しました、種籾を播種し保温芽出機で発芽した苗場箱を育苗用ビニールハウスに移し、苗にHB-101の1,000倍液を動噴により2回散布し、丈夫な苗ができました。

代掻きも2回行いました



トラクターによる2回目の代掻き

殆どの農家では代掻きは1回行い2〜3日圃場面が安定したら、田植えを行うのですが、当農園ではまず1回目の代掻きを行い2〜3日置いてから2回目の代掻きを行い、更に2〜3日置き、安定してから田植えを行っています。

大変ですが、2回代掻きを行うことで、藁が土中に入り圃場面がより細かくなることから、苗の活着が良くなり、水持ちがよくなり、雑草の生えも抑えられる効果が期待されます。

5月連休明けに田植え行う

5月10.〜11.に田植えを行いました。当日は天候にも恵まれ、予定どおり2haの圃場の田植えを終了しました。



5月10日田植えの状況

このQRコードから4〜5月の農作業等の動画が見られます



ニンニクも順調に育っています

昨年秋に植えたニンニクも冬の雪と寒さを乗り越え順調にそだっています。

4月にHB-101の1,000倍液を動噴により2回散布し、追肥も行いました。収穫は6月下旬になりますので、黒ニンニクは7月上旬には発送できるのではと思っています。今から各方面から黒ニンニクの間合せをいただいています。もうしばらくお待ち下さい。



ニンニク畑 HB-101動噴散布

来月号でこの妙高西条農園おたよりも150号となります。

発行者 新潟県妙高市西条755
妙高西条農園池田博子
TEL 0255-72-3497
Fax 0255-72-2908